

円頓寺商店街を歩き山英商店へ

25 期 谷田耕三

3 月 5 日（日）、那古野一丁目まちづくり研究会主催の行事があり参加しました。

今回が 4 回目で、約 30 人が商店街入口に集まりました。案内人はいつもの柳田さんです。

円頓寺商店街のお祭りごえん市開催中で沢山の人が出ていました。この人ごみを避けるため、先ず浅間神社まで移動、まず商店街の歴史について説明がありました。

1647 年、旧新川町から浅間社が現在地に移転、その後続いて専修寺、慶栄寺、圓頓寺が移転し、門前に人々が集うようになった。この賑わいが恒常的な盛り場、円頓寺商店街の素地となり、また堀川の水運に関連した人々の憩いの地になったそうです。

これらの寺社を回って詳しく説明を聞きながら、円頓寺商店街、本町商店街を歩き、西商店街まで歴史的建造物等を見て廻りました。

西商店街のはずれにある今日のメインテーマである山英商店は昭和 7 年からたまり、味噌の製造・計り売りをする数少ない店でした。平成 20 年に廃業しています。建物は登録地域建造物資産第 7 号に指定されており、歴史を感じさせる建物です。

最期に柳田さんが挨拶し、今回のまちあるきは今回で終了ですが、すこし休んで次回は堀川を上流部から下流部まで散策するとのことです。考える会のホームグラウンドです。

尚、今回は考える会の会員が 5 名参加しました。



専修寺（真宗高田派）



ひっそり佇む山英商店